

第7次留萌市総合計画策定市民会議（委嘱状交付式及び第1回市民会議） 会議結果

1 日時

令和8年7月30日(木) 14時00分～15時30分

2 場所

第2委員会室（留萌市役所 3階）

3 出席者

(1) 市民会議委員

9名（全員出席）

(2) 報道機関

3社（留萌新聞社、北海道新聞社、北海道建設新聞社）

(3) 事務局

3名（渡辺総務部長、林政策調整課長、山下政策調整課長補佐）

4 会議次第

(1) 委嘱状交付

（市長から、各委員へ委嘱状交付）



(2) 市長あいさつ

皆さんこんにちは。この度は新しい総合計画の市民会議の委員として、ご応募、そしてお引き受けいただき、ありがとうございます。

通常であれば、もっと余裕を持って会議を開催するところですが、来年4月からの計画となりますので、限られた時間となります。短い間に集中して、議論を重ね、良い計画を策定いただきたいと思います。

総合計画については、この後、担当から、これまではこういう内容であったとか、様々なレクチャーがあると思いますが、今までの例には縛られなくて構いません。皆さんで新たな、これからの留萌にふさわしい計画「それって何だろう」その根っこのあたりから議論を積み重ねていただいて、10年というスパンであれば、この10年で留萌の何を切り出すか。色々なイメージや将来像があるかもしれないけど、その中でこの10年を切り出したら、どうなのかという辺りをみん

なで議論を積み重ねていただければ、とても良い計画ができると思います。

皆さんの議論が土台となって、最終的には議会の議決ですから、多分3月になると思います。4月から色々スタートして、この計画に基づいて、予算編成もすべて動いていく10年になりますから、思い切った発想、新たな発想で取り組んでいきたいと考えています。

私も皆さんの議論を土台としたものを押して、議会にも提案していきたいと思っていますので、自信を持って議論を重ねていただきたいと思います。

どうぞ、3月いっぱいまでよろしくお願いします。（他の公務のため、市長はここで退席）

【第1回市民会議】

1 開会

2 委員紹介

（各委員から自己紹介）

3 説明事項

(1) 総合計画の概要と市民会議の役割

- | | |
|-------------------------|------------------|
| ・第6次留萌市総合計画（基本構想） | 【資料1】
（参考資料1） |
| ・第6次留萌市総合計画（後期基本計画） | （参考資料2） |
| ・第6次留萌市総合計画（第10期実施計画） | （参考資料3） |
| ・留萌市総合計画策定市民会議設置要綱 | （参考資料4） |
| ・第3期留萌市総合戦略の概要 | （参考資料5） |
| ・第3期留萌市総合戦略＜令和7年度～11年度＞ | （参考資料6） |

（事務局説明）

（意見・質疑等）特になし

(2) 次期留萌市総合計画策定に向けたまちづくり市民アンケート分析結果【資料2】

- | | |
|--------------------------|---------|
| ・留萌市まちづくりアンケート集計結果 | （参考資料7） |
| ・留萌市の取組に対する評価【全体版、ランキング】 | （参考資料8） |
| ・アンケート結果分布図 | （参考資料9） |

（事務局説明）

（意見・質疑等）特になし

(3) 今後の進め方

- | | |
|-------------------|-------|
| ① 第7次総合計画策定方針（案） | 【資料3】 |
| ② 市民会議における検討内容（案） | 【資料4】 |

（事務局説明）

(意見・質疑等)

(委員)

- ・基本構想、基本計画のいずれもパブリックコメントを行う予定か伺いたい。

(事務局)

- ・委員おっしゃる通り、基本構想、基本計画のいずれもパブリックコメント行うもの。

(委員)

- ・パブリックコメントしたものを提言書としてまとめていくことでよろしいか。

(事務局)

- ・そのような形となる。

4 協議事項（座長・副座長について）

(1) 座長の互選について

(事務局)

- ・座長の互選に移ります。委員の皆さんから、ご推薦を含めご発言をお願いします。

(委員)

- ・事務局に一任します。

(事務局)

- ・事務局といたしましては、前回の第6次総合計画に携わったご経験から、谷委員をご推薦させていただきたいと考えますがいかがでしょうか。

(委員) 異議なしの声（拍手）

(谷委員) 座長あいさつ

- ・はじめに、先般発生しました熊本の地震でお亡くなりになられた皆様にお悔やみを申し上げますとともに、今まさに被害にあわれた皆様に心よりお見舞い申し上げます。
- ・本日、第7次総合計画の策定に向け、スタートが切られました。座長を務めます谷と申します。短い期間ですけれども、しっかりと皆様方とともに議論していきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。
- ・10年前、同じように第6次総合計画を策定させていただきました。当時のテーマが「人」でありました。まちづくりは「人づくり」と申します。人を大事にしていったことは、10年たった今でも変わらないのかなと感じております。人が輝けば必ずまちが輝くという形で、議論を深めていった思いがあります。この10年を振り返りますと、もちろん人口は大分減りましたし、JRが廃線になりましたし、留萌高校は統合になり、色々なことがありました。更に、新型コロナウイルスの問題もありましたし、皆様方も本当に生活環境が変わっていったことも多々あるかと思えます。一方で、2020年には道の駅ができ、今年に関しては、本当に多くの皆様方のお支えによって、モンベル、そしてJAが入ったアクティビティ拠点施設がいよいよ開業となりました。
- ・留萌を取り巻く環境も本当に変わってきた中で、本当に留萌市が進むべき道、方向

性がしっかりとしていたのは、この第6次総合計画があったから、柱があったからだと思っています。時代が変わっても、まちの目指すべき姿を共有して、市民と行政と地域が同じ方向を向いて歩んでいける「道しるべ」がこの総合計画だと思っています。これからの10年は、今までの10年よりも急激に時代が変化すると思っています。社会経済、デジタル、本当に私たちを取り巻く環境が大きく変わっていきますので、だからこそこの基本計画がすごく大事になってきます。

- ・今回一つのテーマとして「自分事」ということがあります。留萌の未来を自分事として考え、こんなまちに住みたい、子供たちのためにこんなまちを残したいなど、本当に想いを寄り添って前に進められればなと思っています。皆様方もそれぞれ立場は違いますし、年代も違いますけれども、立場を超え、お互いの意見を尊重し合いながら、10年を一緒に作り上げるような総合計画ができればと思っています。
- ・「人が主役の留萌」、人の力で未来を切り拓いていけるよう、実りのある議論をしたいと思っていますので、どうぞ御協力の程、よろしくお願いしたいと思っています。以上でございます。

(2) 副座長の選任

(谷座長)

- ・次代を担う若い方にも、私よりも若い方に入っていただきたいと思っており、笠井委員に副座長をお願いしたいと思いますが、皆さんいかがでしょうか。

(委員) 異議なしの声 (拍手)

(笠井委員) 副座長あいさつ

- ・先ほどの自己紹介でもお話ししましたが、子育て世代として、また、JR留萌駅はなくなってしまいましたけれども、留萌駅前商店街の一角で長いこと商売をしてきている身として、一つまちが変わっていく起点になる場所に居を構えているということもあるので、皆さんと活発な議論ができれば良いなと改めて思った次第であります。よろしくお願いします。

※座長に谷委員、副座長に笠井委員を選任

5 意見交換 (意見共有・まとめ)

(座長)

- ・前回の総合計画は課題の洗い出しから入りましたが、この度は「どういったまちにしたいか」、「夢」や「希望」を3人ずつのグループに分かれて20分程度、付箋に書き込んでいただきたいと思います。

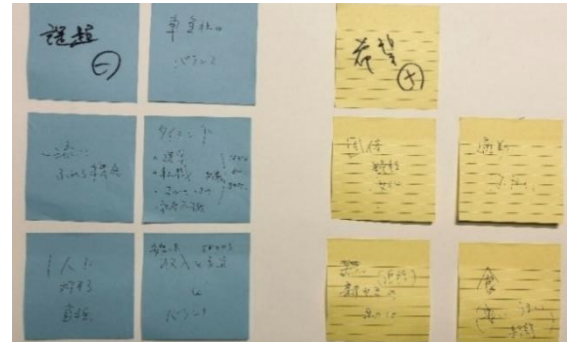
(付箋について)

付箋「黄色」は、大事にしたい、大切にしたい、プラス、ポジティブ、希望など。付箋「青色」は、ネガティブ、マイナス、課題など、各グループで表現は異なります。

【グループ】

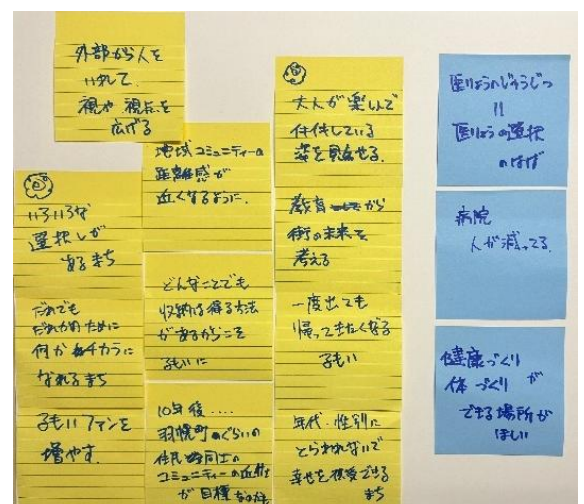
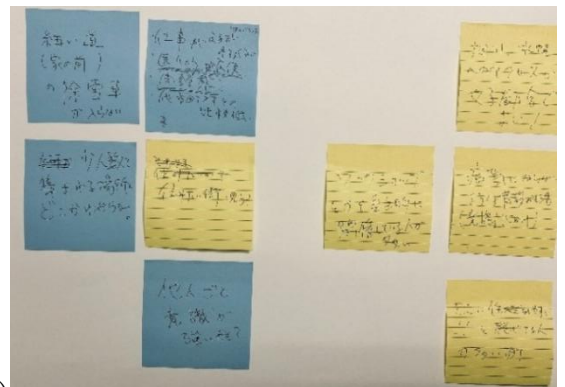
(マイナス意見)

- ・ 一流に触れる機会
 - ・ 一人に対する負担
 - ・ 車負担のバランス
 - ・ タイミング（通学、転職、転勤、子供の進学、転居不可能）歯止めが利かない
 - ・ 安定した収入と必ずかかる支出とバランス
 - ・ 細い道（家の前）に除雪車が入らない
 - ・ 少人数で集まれる場所がどこかわからない。
 - ・ 仕事があるか、収入バランス
 - ・ 医療が不便
 - ・ 魅力ない
 - ・ 閉鎖感
 - ・ 他市町村との比較低
 - ・ 住みたい街と思う？
 - ・ 他人事意識が強いかも。
 - ・ 移動
 - ・ つながる
 - ・ 点はあるが線がない
 - ・ 医療の充実＝医療の選択の幅
 - ・ 病院 人が減っている
 - ・ 健康づくり 体作りができる場所が欲しい
 - ・ 各施設の場所がバラバラで使いにくい。
- 且つ、施設に、その場にいたい、使ってみたいという魅力が少ない。
- ・ 子育てをしている親世代に対する魅力が少ない

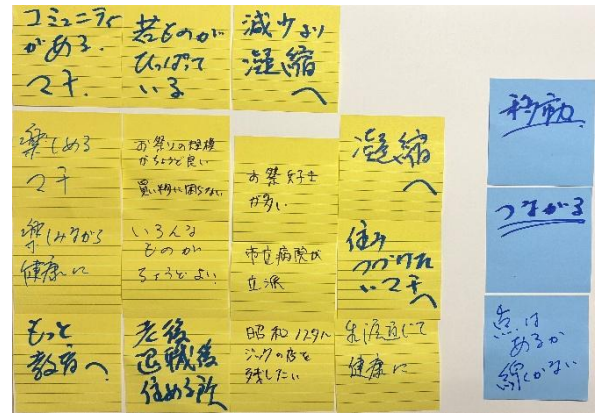


(プラス意見)

- ・ 団体（競技・文化）
- ・ 近所、親戚の助け
- ・ 通勤が早い
- ・ 食（安い・旨い、新鮮）
- ・ 旭川、札幌へのアクセスが好都合で良い
- ・ ここに住みやすいと感じている人が多い街
- ・ 病気にならないような普段の生活（意識・心がけ）
- ・ ワークショップとかを自主的に開催している人が多い
- ・ コミュニティがあるマチ
- ・ 楽しめるマチ
- ・ 楽しみながら健康に
- ・ もっと教育へ
- ・ 若い者が引っ張っている
- ・ お祭りの規模がちょうど良い
- ・ 買い物に困らない
- ・ いろんなものがちょうど良い
- ・ 老後、退職後、住める所
- ・ 減少より凝縮へ
- ・ お祭り好きが多い



- ・市立病院が立派
- ・昭和ノスタルジックな店を残したい
- ・凝縮へ
- ・住み続けたいマチへ
- ・生涯を通じて健康に
- ・外部から人を入れて視野、視点を広げる
- ・いろいろな選択肢があるまち
- ・誰でも誰かのために何か力になれるまち
- ・るもいファンを増やす
- ・地域コミュニティの距離感が近くなるように
- ・どんなことでも収入は得る方法があるからこそるもいに
- ・10年後…住民同士のコミュニティの近さが目標になのかも
- ・大人が楽しんでイキイキしている姿を見せる
- ・教育から街の未来を考える
- ・一度出ても帰ってきたくなる留萌
- ・年代・性別にとらわれないで幸せを享受できるまち



【その他意見】

（委員）

- ・留萌市民の収入と支出のバランスについて、生活のしやすさ、しにくさなどの視点で、他の市町村と比較できるものがあれば確認したい。

（事務局）

- ・現状把握を含め、どのような資料を提供できるか検討としたい。

（委員）

- ・アンケートにおいて外国人の内容があったが、留萌市内に外国人就労者が増えており、その方たちが留萌をどのように感じられているのか。スポーツセンターの利用機会も増えている。

（座長）

- ・10年前には考えられなかったが、現在、留萌市内に外国人就労者も多く、増えていることから、外国の方の意見を取り入れることについて、部会又は企業のご協力をいただき、ヒアリングなどの機会を考えたい。

（委員）

- ・外国人の方の公共施設利用も増えており、留萌の住み心地も把握できればと考える。感触は良いものと感じられる。

（副座長）

- ・第6次の検証はどこで諮るのか。また、期間が短いことから、定員が10名であるならば、もう一人委員を増やし、広く意見をいただくことも検討できないか。

（委員）

- ・若い女性も参加してくれると良い。

(事務局)

- ・第6次総合計画の検証については、次回第2回の市民会議でお示ししたい。委員については、副座長からのご意見も踏まえ、参画の機会を広げ、議論を深める視点からも、1名の追加公募を考えたい。

(座長)

- ・事務局と座長で調整のうえ、皆様にご報告したい。

6 次回案内・閉会

(事務局)

- ・次回の会議日程は、座長と調整のうえ、日程調整を行うことといたしますので、その際にご協力の程、お願いいたします。
- ・また、本日いただいたキーワードを整理のうえ、座長、副座長と調整し、内容について共有させていただきます。

※今後について

- ・留萌市民の生活（収入・支出のバランス）に関する現状、他市町村との比較（住み心地）（事務局において現状等、把握のうえ、検討）
- ・特定技能実習生など、外国人就労者への意見聴取の検討（座長と協議のうえ、検討）
- ・定員10名に向けた市民会議委員（1名）の公募（座長と協議のうえ、検討）
- ・意見交換におけるキーワードの整理、集約等（意見整理のうえ、座長と協議）

○参考（意見交換）

